

ジュニアスポーツ教育学科のゼミ活動

葦原 摩耶子

ジュニアスポーツ教育学科では、3年次よりジュニアスポーツ教育学専門演習（ゼミ）の学修が始まる。学生が、それぞれの進路や深めたい専門性に応じてゼミを選択し、2年間のゼミでの研究活動を通して4年間の学びの集大成となる卒業論文を作成する。現在は、ジュニアスポーツ教育コースに3つ、スポーツカウンセリングコースに2つ、スポーツマネジメントコースに3つの合計8ゼミが設置されており、各コース、ゼミの特色に合わせた学びが展開されている。

ジュニアスポーツ教育コースは、子どもの能力を引き出す指導者の育成を目指している。中学校・高等学校の保健体育教員になるために、理論と実践の両面からの学びを重視しており、体育の授業のサポート活動、体育教師のあり方や実技指導方法などをテーマとした討論等を通して、指導者としての資質の向上に取り組んでいる。

スポーツカウンセリングコースでは、子どもの心理がわかる指導者の育成を目指している。子どもたちが安心してスポーツに取り組めるよう、心身両面のサポートができる能力の育成を目的に、運動習慣の形成やストレス対処、運動・スポーツの制御や学習などをテーマとした実験や調査研究

を行い、子どもの心理や支援方法に対する理解を深めている。

スポーツマネジメントコースでは、スポーツビジネスで活躍できる人材の育成を目指している。スポーツイベントの企画・運営方法を身につけることを目的に、スポーツマネジメントに関する情報収集・企画立案、学外のスポーツ企業や関連イベント等の訪問、地域スポーツクラブ発展の方向性や経営方策の探求、トレーナーとしての知識と技術の向上などの活動に励んでいる。

また、毎年、4年生最後のゼミの時間を利用して、すべてのゼミが合同で卒業論文発表会が実施されている。卒業論文発表会では、各ゼミから選出された代表者1名ずつが、各自の卒業論文の要点をまとめた内容をプレゼンテーションする。2012年度は1月25日に「第2回ジュニアスポーツ教育学科卒業論文発表会」が開催された。8名のゼミ代表者は、それぞれ10分間の持ち時間のうち7分間で自分の研究の成果を発表し、残りの3分間ではフロアの学生、教員からの質問に応えた。各ゼミの特色が反映されたさまざまな研究テーマによる発表と盛んな質疑応答がなされ、4年間の学びの成果が披露された。

